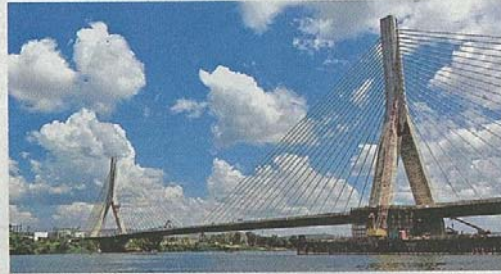


日刊建設工業新聞（2018年10月19日付1面掲載）

【設計・監理はオリエンタルコンサルタンツグローバルJV

ウガンダ政府 ナイル川源流橋の開通式開く 国内初の斜張橋誕生 施工は銭高組JV】

ウガンダ政府 ナイル川源流橋の開通式開く



橋長525mで物資輸送の要となる

日本の円借款（有償資金協力）を活用し、ウガンダ南東部のジンジャ県に建設していた斜張橋「Source of the Nile Bridge（ナイル川源流橋）」が完成し、17日に現地で開通式が行われた。

国内初の斜張橋誕生

施工は 銭高組JV

式典には同国のヨウエリ・ムセベニ大統領やモニカ・アズバ・ンテゲ公事業・運輸大臣をはじめ、佐藤正久外務副大臣、亀田和明駐ウガンダ大使、深瀬豊国際協力機構（JICA）ウガンダ事務所長、銭高久善

クリート主桁の斜張橋としてアフリカで最大級、東アフリカ最大規模の支間長を誇る。

隣国のケニアやコンゴ、ルワンダなどを結ぶ北部経済回廊に位置し、内陸国であるウガンダで物資輸送の要所となる。ナイル川に架

かる既存橋梁は、片側一車線での交通量の増加によって渋滞が慢性化している。老朽化が深刻で補修も困難なため、新橋梁を建設することにした。



右から銭高社長、佐藤外務副大臣、亀田大使、深瀬所長、米澤社長

同国は今回の式典を国家的行事と位置付けた。ムセベニ大統領のテープカットや関係者による渡り初めの後、橋梁付近に設営された会場で夕食会、イルミネーション点灯式などが行われた。花火も打ち上げられイベントに花を添えた。

オリエンタルコンサルタンツグローバル・エイト日本技術開発JVが架橋位置の検討を含む実現可能性調査と詳細設計を担当。施工監理はオリエンタルコンサルタンツグローバル・エイト日本技術開発・P.E.C.V.。銭高組・現代建設JVが橋梁架設と取り付け道路を含む工事一式を施工した。